

うらのの
浦野

きよし
潔さん

(広馬場地区)

縁あってこの旧宿場に5年ほど前に移り住みました。連日、相馬山や榛名富士を眺め、非常にゆったりと落ち着いた気持ちで仕事ができるようになりました。

私は、30年間文化財の修理にたずさわり、特に木彫の仏像の修理を専門としています。文化財修理として仏像を修理するという事は、他の修理とは違い、新たに塗りがえたり作りかえたりせず、壊れたり傷んだりした部分だけを直すということです。また、その仏像が造られた当時と同じ技法を使い、材料も日本産の漆や膠や檜材などを使います。

現在に伝わる多くの寺院や仏像は、過去に何度かの修理の手を経て今に伝えられています。鎌倉時代に造られた阿弥陀様には室町時代と江戸時代に一度ずつ、当時の仏師により修理された痕跡が残っています。先人の修理の痕跡を注意深く観察することにより、様々な技術や工夫を知ることができます。すべてを塗りがえたり作りかえたりしないことで、次の世代に技術が伝承されます。



おかもと
岡本

ゆうじ
有司さん

(長岡地区)

父、卯三郎は榛東村長岡で生まれ、渋川市にこけし工房を作り、昭和54年に故郷である長岡に日本一のこけし工房をと移転しました。

二代目としてこの工房を受け継ぎ、また、三代目へと引き渡していく。こけしという人形を通して日本の新しい伝統として続けていければと思っています。

卯三郎こけしは、ろくろの他、旋盤の技術を応用、さらに焼き絵や彫刻も融合させて、自らの作風を開拓している。群馬のこけしはこうでないといけなく、という制約がない柔軟な姿勢は、時代が変わっても受け継がれる。基本を守ることは大事だが、お客様に喜んでもらえるよう工夫を重ねること、匠の技を駆使し、何が求められるかを考えながら新作に取り組んでいます。



[匠の技…榛東村の匠の技(職人の技)を紹介します。]

議会を傍聴しませんか!

第3回定例議会を傍聴された方は、延べ33名です。

傍聴受付は、複雑な手続は必要ありません。

役場3階のエレベーター前で住所・氏名を記入して入場してください。

詳しくは **榛東村議会事務局 (☎0279-54-2211)** までお問い合わせください。

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長	発行責任者
小山久利	山口宗一	南千晴	善養寺忠	松岡稔	柳田キミ子	高橋正	
議会広報特別委員会							

私は対外的に職業を明らかにする場面では「特別地方公務員」と記しています。勤務先は「榛東村議会議員」そんな私の仕事は、住民の声、願いを村の施策につなげ、住民が主人公の村づくりに活かすことです。決して特権階級ではないし、ましてや公私の区別は公金の使途に関わることだけに、厳しく自己点検するようにしています。

今さらながら、議員としての道徳感覚、社会性、協調性など一定のバランスをもって歩みたいと願っています。(柳田)

編集後記